

# News letter

株式会社日立ソリューションズ <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

今月号のキーワード

お客様のニーズに即したシステム/ソリューションを提供

## 特集

日立ソリューションズが提供する地方銀行、信用金庫、信用組合向けシステムのご紹介

地域金融機関は、地域密着型金融の中心的な担い手として、多様化するライフサイクルや社会環境の変化に対応したサービスを提供することが求められています。日立ソリューションズでは、そのような地域金融機関の声やニーズを汲み取り、さまざまな領域でシステム/ソリューションを提供してきました。今回は、当社の金融機関向けソリューションとして代表的な「債権書類管理システム」の他、「相続業務支援システム」や「金融機関向け地図情報システム」など最新のソリューションについて、それぞれの特徴を紹介します。



### 藤井 隆之

金融ソリューション本部  
第5部  
第2グループ 技師

相続業務支援システムなど情報系  
ソリューションの企画・拡販・設計に従事



### 上野 豊隆

金融システム全国本部  
第3部  
第4グループ 技師

金融機関向け地図情報システムを担当

## 致命的な問題となる債権書類の不備を防止する 「債権書類管理システム」

～背景～

金融機関では、債権書類の遺失や押印・記入漏れなどの不備は、お客様からの信用が失墜する恐れがあることから、堅実化を目的とした「債権書類の集中管理」に取り組んできました。日立ソリューションズは、1997年から地域金融機関における債権書類の集中管理を実現する「債権書類管理システム」を提供しており、これまで累計48の金融機関への導入実績があります。

～特徴～

「債権書類管理システム」は、債権書類をイメージデータとして管理し、必要な際に検索・照会ができます。現物の債権書類を本部で集中管理することで、内部検査が容易となり、各営業店での管理業務にかかる人員や保管スペースを削減できます。

本システムの特徴は、以下の通りです。

現物の債権書類を債権番号のバーコードを貼付けた保管袋に封入し、入出庫操作や棚卸操作は全てバーコードリーダーで読み取ることにより、操作時のミスを大幅に削減できます。

勘定系ホストコンピュータから融資取引のデータを取り込むことで、実行した全ての債権情報を漏れなく把握できます。

入庫/出庫等の操作履歴を全てデータベースに記録するため、書類毎の追跡が容易にできます。

書類を格納する金庫室の棚管理を行い、書類毎に格納位置を自動割り当てするため、書類の収納位置を容易に知ることができます。また、入庫時に書類と収納位置の突き合せを行って、確実に収納されたことを確認できます。

単体で読み取りが可能なハンディバーコードリーダーを金庫室に持ち込むことで、現物照合を行う棚卸作業が容易になります。

融資実行を行ってから一定期日までに書類が入庫されない債権や、完済してから一定期日までに返却依頼されない債権の期日管理を行い、督促帳票を発行することで、営業店に通知することができます。

債権書類をイメージデータとしてスキャナーで読み取り、大容量ディスク装置に保管し、イントラネットで営業店から即座に照会することができます。

また、最近ではバーコードの代わりに、ICタグを利用することで大量に保管した書類の棚卸を容易に実現できるシステムを導入している地域金融機関も増えています。

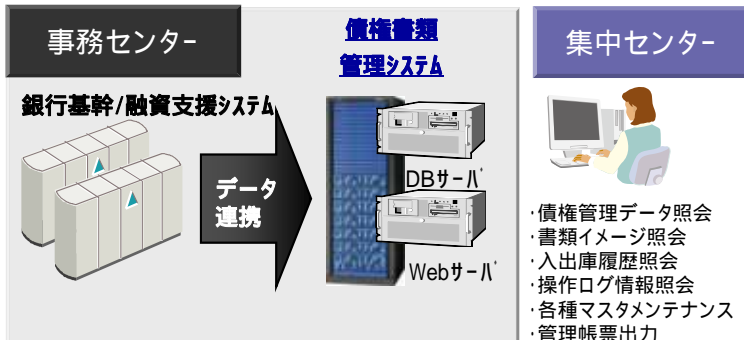


図1: 債権書類管理システム 構成図

## 専門的な相続業務をナビゲーションで支援する「相続業務支援システム」

～背景～

金融機関における相続の手続きは、被相続人の取引状況や遺産分割形態などにより千差万別の対応が必要となるため、専門的な知識や経験が求められます。このような状況から、地域金融機関の営業店では、対応できる職員が限られているため、増加する相続業務において十分な対応ができないという問題がありました。そこで、日立ソリューションズは、相続業務をナビゲーションという形でサポートし、「誰もが平易に取り組める相続業務」を実現する「相続業務支援システム」を開発し、2011年2月から提供を開始しています。

～特徴～

「相続業務支援システム」は、お客様(被相続人)との取引状況に応じて、ヒアリングシートに確認すべき項目を判定・抽出し、誰でもスムーズに受付事務を行えるように支援します。ヒアリングシートで確認した内容から、相続手続きに必要な事務作業と徴求書類をシステムがピックアップしてナビゲーションすることができるため、お客様毎にきめ細かい対応を確実に行うことができます。

本システムの特徴は、以下の通りです。

システムが自動収集した被相続人の取引状況から確認すべき項目を抽出したヒアリングシートによって、受付事務をスムーズに進めることができます。

法定相続順位などを考慮した画面誘導により、相続関係図を自動で作成できます。

被相続人の取引状況や遺産分割形態などの情報から、お客様毎に提出が必要な相続関連書類の情報を表示し、相続書類のご案内を自動で作成できます。

取り扱った案件を事例として蓄積し、類似案件を検索し、内容を照会できます。

## 地理情報の活用で戦略的な営業活動を支援する「金融機関向け地図情報システム」

～背景～

デフレという厳しい経済状況下で、大手金融機関やネット銀行との競争を強いられる地域金融機関においては、優良なお客を維持拡大していくための営業(渉外)活動の効率化や強化が最優先の経営課題となっています。昨今、GoogleMapやインターネットフリー地図Viewer、MapServerなどによるフリーの地理情報システム(GIS)エンジンの台頭



図2: 相続業務支援システム 画面イメージ

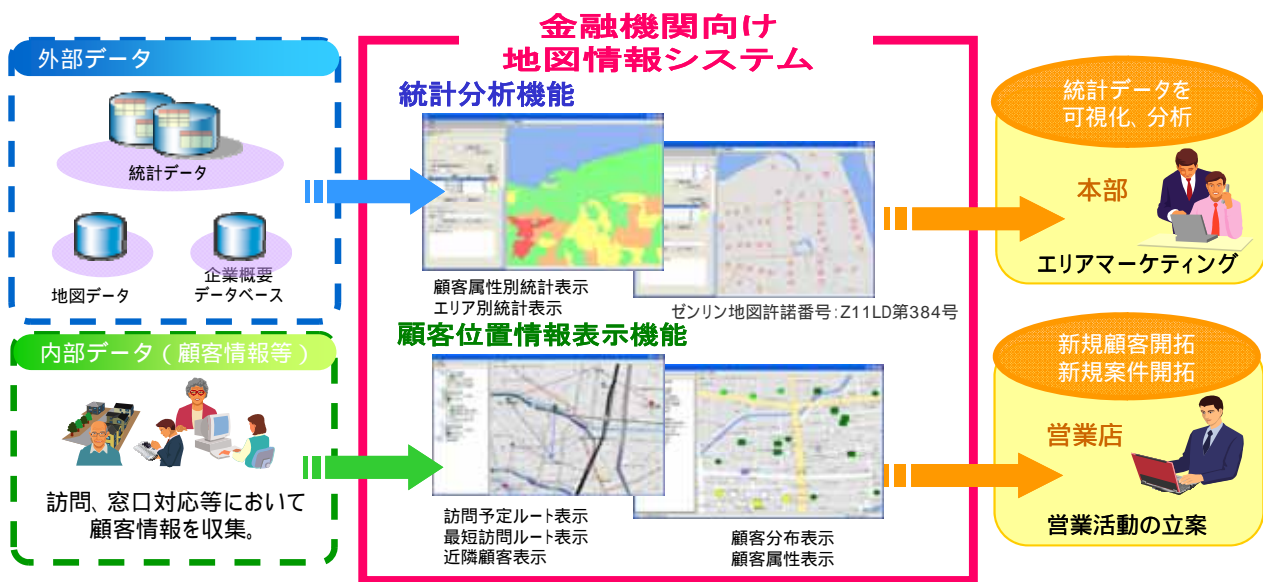


図3:金融機関向け地図情報システム 業務フローイメージ

により、GISが業務ユーザーから一般へ広く浸透し、さまざまな業種 / 業態において、現状業務に地図を活用する動きが活発化しています。このような状況から、日立ソリューションズは、自社で開発したエンタープライズ型地理情報システム「GeoMation」を用いて、営業戦略立案・営業活動を支援する「金融機関向け地図情報システム」の提供を2011年10月から開始します。

～特徴～

「金融機関向け地図情報システム」は、金融機関のお客様情報や外部の企業情報・エリア別統計情報・お客様訪問ルートなどを地図上にダイナミックにリンクし、さまざまな形でビジュアルに表示することで「気づき」を与え、営業活動の立案や本部での店舗戦略・エリア別営業戦略などを支援します。多数の実績を誇る地理情報システム「GeoMation」、営業活動・経営 / 営業戦略に「気づき」を与える「業務テンプレート」、金融機関で利用実績が多い「統計データ」をAll in One で提供します。

本システムの特徴は、以下の通りです。

お客様の位置情報と統計・分析結果の色分けやグラフを地図上に重ねて表示することで、戦略的な営業活動を支援します。

お客様の訪問予定ルートや最短訪問ルートを表示でき、お客様毎の情報を属性によって色分けすることで、効率的な営業活動を実現できます。



図4:金融機関向け地図情報システム 利用イメージ

日立ソリューションズでは、「債権書類管理システム」による事務集中 / バックオフィスの効率化、「相続業務支援システム」による事務手続の標準化、「地図情報システム」による営業力強化といった地域金融機関の求めるニーズを具現化してきました。また、将来的には債権書類管理システムを中心に、クラウドを利用したシステム形態や、書類の保管・管理といった事務を外部に委託するアウトソーシング形態への検討も進めています。

今後も日立ソリューションズは、お客様のニーズに即したシステム / ソリューションを提供し、地域金融機関の更なる発展に寄与していきます。

これまでの関連リリース

- ・日立ソリューションズが碧海信用金庫の相続業務支援システムを構築 (3月4日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/2011/0304.html>
- ・「金融機関向け地図情報システム」を販売開始 (5月24日)  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/news/2011/0524.html>



# 最近のニュースリリース

当社の発信したニュースリリースの詳細は、当社ホームページの以下URL  
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/company/press/> でご覧いただけます。

文書管理システム「ラビニティOne」がAndroid端末からのアクセスに対応  
出張先や会議室など自席以外の場所からでもセキュアなアクセスを実現

スマートフォン入力に対応した就業管理システム「リシテア Job」最新版の販売開始  
外出先のモバイル端末から勤怠情報を入力することで、利便性の更なる向上を実現

指操作を実現したポータブル型電子黒板「StarBoard Link EZ」を発売  
利便性向上により、教育現場における電子黒板導入を促進

## TOPICS

### GeoMation Farmを利用した農作業ロボットの実演会を開催(北海道湧別町)

オホーツク管内湧別町北兵村の圃場で5月30日、農作業ロボットの実演会が開催されました。

本実演会は、上湧別農業経営研究会と北海道大学大学院 農学研究院が主催し、同研究会会員をはじめ、管内外の農業関係者ら約140人が見学しました。

実演会では、約1ヘクタールの圃場であらかじめ設定した情報を基に、衛星利用測位システム(GPS)から位置情報を受けた無人のトラクターが圃場内を走行し、播種などの作業を実演しました。

日立ソリューションズは、2004年からGIS(地理情報システム)を利用した農業情報管理システム～GeoMation Farm～を農業協同組合様に提供しています。GeoMation Farmは、農地管理をベースに、衛星画像を利用した作物の生育状況の解析や、施肥設計、生産履歴の管理など、さまざまな業務で活用されており、当社はこのシステムのシリーズのひとつとして、農業機械の位置をGISで管理する農作業管理システムを2010年に提供を開始しました。

現在、当社は2010年から開始した農水省の委託プロジェクトである、「農作業の軽労化に向けた農業自動化・アシストシステムの開発 - 稲麦大豆作等土地利用型農業における自動農作業体系化技術の開発」において、北海道大学の野口教授のご指導を受けながら、農作業ロボットのGIS上での位置表示と共にロボットの走行計画データの作成を始めとする、ロボット作業管理システムの開発に取り組んでいます。

今後も、日立ソリューションズは、農業のIT化の発展に寄与出来るよう、取り組んでいきます。



実演会の様子



商号	株式会社 日立ソリューションズ
本社事務所	本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号 本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号 Tel: 03-5780-2111(大代表)
設立年月日	1970年9月21日
従業員数	10,279名(単独)(2011年3月31日現在)
事業内容	業務コンサルティング、ITコンサルティング、システム設計、保守、システム運用、システム開発のライフサイクルを一括してサポートするワンストップサービスを提供
主要製品	機密情報漏洩防止ソリューション「秘文」、就業管理システム「リシテア」、指静脈認証システム「静紋」、Juniper Networks製品、電子ドキュメントータルソリューション「活文」、インタラクティブ電子ボード「StarBoard」、相互運用型地図情報システム「GeoMation」、統制IT基盤提供サービス「SecureOnline」、JP1ソリューションサービス 他
認証取得	ISO9001、ISO14001、ISO27001
主な子会社および 関連会社	日立ビジネスソリューション(株)、(株)日立システムバリュー、日立ソフトシステムデザイン(株) キャブカード&サービス(株)、(株)アイネス、(株)ビジネスブレイン太田昭和、(株)DACS

\* 記載されている会社および製品名は各社の商標または登録商標です。